



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 21 年 10 月 25 日(日)  
手這坂の民家修復作業開始 編

手這坂活用研究会は、今年度「県景観モデル地域支援事業」に認定され、久々の(?)活気が戻ってきました。八峰町役場もめでたく完成し、嶋津さんも少しは休憩できるのでしょうか。

手這坂で草刈りをしていた嶋津さんは4kgの減量(?)に成功し、若返っていらっしやいました(町長に感謝とのコメント)。大高会長は茅葺屋根の中にすっぽり埋まって、真っ黒け！牛丸さんは、手作りお風呂の薪を入れ、みんなが真っ白になれるよう準備をされていました(感動)。

私は、少々の差し入れを手に写真を撮って仕事中の邪魔をして帰ってきただけで、何とも申し訳なく、気恥ずかしい想いいっぱい帰ってきました。

この日は手這坂活用研究会メンバー、茅葺職人さんと青森県から来てくれたボランティアの方々10人ほどでの作業でしたが、茅葺屋根の厚みは相当なもので、一週間で完成することを祈るばかりでした。

本当は、のしろ白神ネットワークでもっとお手伝いが出来たらいつも思うのですが、それぞれの活動が精一杯で、なかなか理想通りにはいきません。けれども、皆さんとの交流は大切にしています。

嶋津さんからいただく「手這坂桃郷情報」もすみれ会メンバーに回覧し、人間力の偉大さを学んでいます。情報通信の中で、手這坂活用研究会が9年間に実施した事業費が1千万円を越えたという記事には驚きました！事業を継続し、維持することの大変さを垣間見た気がします。

これからも、私達の先頭に立ち、旗振り役をしていただき、叱咤激励をお願い致します！！

文：能登 祐子



周囲の山々の紅葉が手這坂の秋の魅力をより一層引き立てます。



屋根上の作業も、下での作業も重労働で大変です。美しい景観づくりとその維持には、資金も人手も不可欠ですね。



牛丸さんが準備中の薪風呂「桃源郷の湯」。山間に漂う白い煙と薪の燃える香ばしい匂いが郷愁を誘います。